

水道事業の未来のために



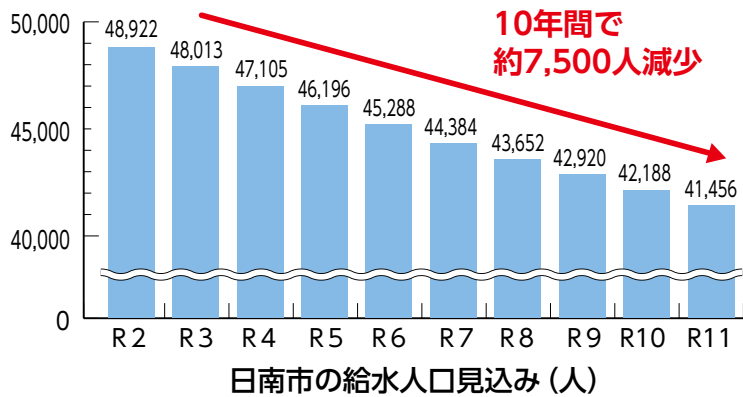
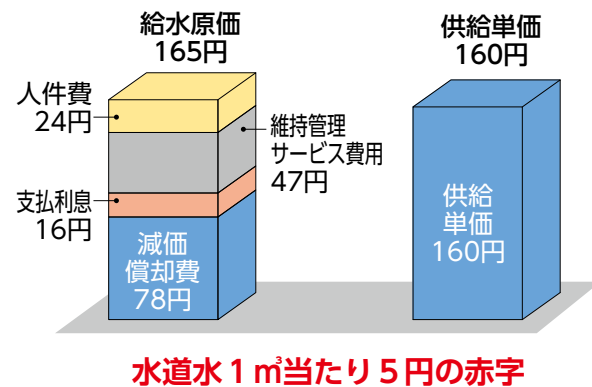
水道は、私たちの生活に欠かせないものです。本市は、安心・安全な水道水をお届けするために、水道事業の安定した経営に努めています。しかしながら、水道事業を取り巻く環境は、水道施設の老朽・耐震化などの対応が求められる中、将来的な給水人口の減少に伴う水道料金収入の減少が予測され、非常に厳しい状況が見込まれています。

●問い合わせ 水道課 ☎(31)1171

水道事業の抱える問題

(1) 水を供給するほど赤字が発生

水をつくる経費を「給水原価」、水を売る価格を「供給単価」といいます。令和元年度決算値で見した場合、給水原価は165円、供給単価は160円であり、水道水1㎡当たり5円の赤字となっています。



(2) 給水人口の減少

本市の水道事業の給水人口は、令和元年度末時点で4万9,830人です。総人口5万2,293人に対する給水普及率は、95%となっています。

令和11年度には4万1,456人になる見込みで、10年間で約7,500人減少し、水道料金収入も減少する見込みとなっています。

(3) 水道管の老朽化は深刻な問題

水道管の耐用年数は40年です。水道管の老朽化は漏水の原因となります。

日南市の水道管総延長約55.5kmのうち、約17%、94kmが耐用年数を超えています。毎年古くなった水道管の入れ替えを行っています。かなりの年数を要することとなります。

日南市水道事業経営戦略を策定

将来にわたって安定的に水道事業を継続していくために、令和2年度から令和11年度までの10年間の計画期間とする「経営戦略」を策定しました。

■水道事業の経営の基本方針

「いつまでも、おいしい水を提供します」を基本理念として、市民の皆さまに信頼される水道事業を経営します。経営理念を達成していくために、「持続」「安全」「強靱」の3つの方針を設定して、水道事業の経営を行っていきます。

持続

強靱

安全

の水質の維持に多大な負担を必要としています。

■経営戦略における主な取組

(1) 建設改良事業の計画的な実施

水道事業の安定的な経営のための水道施設の統廃合や安心・安全な水道水の安定的な供給のための施設更新、耐震化などの建設改良事業を計画的に実施していきます。

重点事業を優先して実施し、それ以外の事業を平準化することで、年間約7億円の建設改良事業費を見込んでいきます。

このような問題を解決するために、既設浄水場から南郷地域への水道水供給を予定しています。既存の浄水場や配水池などの再構築によりコスト削減も図ります。事業は令和13年度に完了する予定です。

(2) 水道料金の改定

現在の水道料金を維持した場合、計画的な建設改良事業の実施が困難となり、将来的な水道水の安定供給に支障を来す恐れがあります。

そのため、経営戦略において、令和3年10月に約26.2%増の水道料金改定を行うことを見込んでいます。

おり、施設の老朽化は進んでいます。また、地滑りの影響により水源の消失が懸念されています。

●経営の基本方針

大島には観光施設などが存在し、今後も水道水の供給は継続しなければならぬため、将来的には、簡易水道事業を廃止し、小規模水道事業などへの移管を検討しています。

このような状況を踏まえて、経営戦略においては、簡易水道事業を廃止するまでは、必要最低限の経営を維持していくことを基本方針としています。

●経営戦略における具体的な取組

既存水源が消失した場合でも、確実に水道水を提供できるよう、予備水源の整備を行います。

また、水道料金収入の増加は見込めないため、一般会計からの繰入などの財源確保に努めていきます。

※経営戦略は日南市ホームページに掲載しています。

日南市水道事業100周年



日南市の水道事業は給水開始100周年を迎えました。100周年を記念して、11月に親子体験学習やパネル展などを行う予定です。内容が決まり次第、広報誌などでお知らせします。

また、「日南市水道事業100周年」のSNSを開設し、日南市水道事業の歴史などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

●日南市水道事業100周年SNS



facebook



Instagram